

「契約の箱の入城」

2026.6.10

聖書に学ぶ 44

Ⅱ サムエル記 6:1～23

主なる神の力によって、全ての戦いに勝利したダビデは主に感謝し、神の箱をエルサレムに運び入れることを全イスラエルと共に実行しようとしていました。ところが、上手くいきません。これは主のみこころに叶っていないのかとダビデは立ち止まり、中止しました。

人は、その思いや目的は正しくても、その方法や、やり方が間違ふことがあります。そのようなとき、私たちはどうしたら良いでしょうか。

今日の学びの要点

愛である神様は、私たちに自由に判断し、行動する力を与えられました。しかし神様の聖さのために定められたことは変えられません。私たちは主に従わなければなりません。

ダビデはそれに気づき悔い改め、主を心から喜び、その喜びを素直に表現しました。私たちも堅い心を捨て、主の恵みによって救われた喜びを感謝しましょう。

I、神の箱を迎える備え

1、ダビデは、首都をエルサレムに決めました。

*ダビデは要害のエルサレムに住みました。この町を人々は何と呼びましたか。

(Ⅱサムエル記 5:9)

2、ダビデはイスラエルの全集団 3 万人に向かって、何と語りましたか。

(Ⅰ歴代誌 13:1～4)

Ⅱ、神の箱を運ぶ

1、その頃、神の箱はどうなっていましたか。

*シロで祭司エリの所～アミナダブの家に移っていた。

↓ 息子ホフニとピネハスが戦いに持って行く

ペリシテ人に渡る (Ⅰサムエル記 4:)

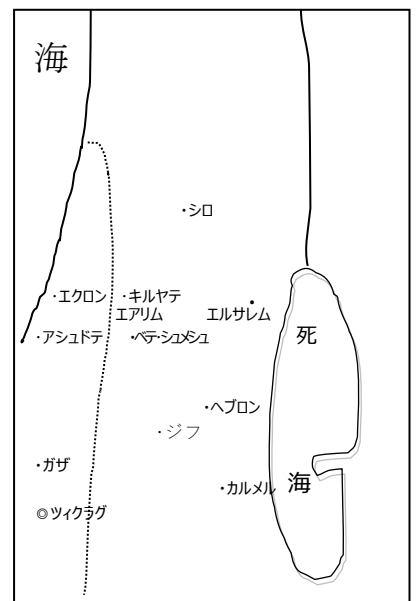
↓ アシュドテ → ガザ → エクロン

↓ (行く先々で禍が起きる)

イスラエル(ベテ・シメシュ)へ返す (Ⅰサムエル記 6:)

↓ 神の箱の中を見て、57,000 人打たれて死んだ

キルヤテ・エアリム (アミナダブの家)に置かれていた



2、神の箱を運ぶ途中、ナコンの打場でどのような事件が起きましたか。

(Ⅱサムエル記 6:6~10)

① どうして、ウザは神の箱を押さえたのでしょうか。

② 打場とは、麦を殻と実に分ける—— ご自分の聖さをハッキリさせられた。

Ⅲ、神の定めに従う

契約の箱には、十誡の石板、アロンの杖、マナの入った金の壺が入っていて、契約の箱のある処に神の臨在が伴うと約束されていました。

1、出エジプト記 25:12~15、民数記 4:15~20 を読みましょう。

① 神の箱は、契約の箱・あかしの箱と呼ばれ、その扱い方も教えられていました。

* 民が進むとき、祭司は規定に従って聖所の全ての者を覆って運び、最後にレビ人の中のケハテ族の者だけが神の箱を担いで運ぶことが許されていました。(民 4:1~20)

② 神の箱はオベデ・エドムの家で預かる事になりましたが、その家はどうなったのでしょうか。(Ⅱサムエル記 6:11)

2、ダビデはこれを聞いてどうしましたか。また、どのように神の箱をエルサレムに運び入れたのでしょうか。(Ⅱサムエル記 6:12)

① I 歴代誌 15:13~15 : 祭司とレビ人を招集し、聖別し、主のことばに従った。

② Ⅱサムエル記 6:14、15: 主の前で、力の限り踊って、主の箱を運び上った

3、サウルの娘ミカルは夫ダビデを蔑^{さげす}みましたが、ダビデは何と言いましたか。(Ⅱサムエル記 6:21~22)